

2022 第2回 リレー講座を以下の通り施しました。多数のご参加ありがとうございました。参加者の皆様の様子をご覧ください。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

**担当者** 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター 講師 紺谷 正樹

**日時・場所** 6月11日(土) 13:30～ C105教室

**タイトル** 「教育評価に生かす ICT 機器の活用の在り方ー 生徒の学習履歴の収集・分析の仕方ー」

### 講義内容

- ・ 教師の機能と学習規律
- ・ 教育評価について
- ・ スタディログ (学習履歴)
- ・ スタディログを活用した教育評価
- ・ ファイルの種類は2種類しかない
- ・ Google Form によるテストづくり



教師の教育機能の基本をおさえ、学習規律の確立を目指す。

教授機能				評価機能	
情報提示機能		反応制御機能		生徒に関する情報収集と診断	
教材提示	生徒へのKR (Knowledge of Results)	反応喚起	反応統制	生徒に関する情報収集と診断	教授効果に関する情報収集と診断
説明 助言 解説 劇化 演示	確認 受容 感想 まとめ 拒否 身ぶり 表情	発問 間合い 指名 演示 合図	指示 身振り 教示 表情 誘導 手本	机間巡視 観察 面接	テスト 面接 観察

【教師の教育機能】 引用：文部省中学校教育課監修 機器利用による学習指導の改善（理論編）大日本図書 昭和46年9月

### 参加者の声より一部抜粋

- ・ テキストデータで残す必要性を認識しました。
- ・ 指導と評価の一体化について、教えて終わりではなく、評価として指導に生かしていかなければいけない。
- ・ 教育評価の源流に遡るといことで機器利用の資料から、歴史的な流れが分かりました。
- ・ 学習評価について、総則の読み解きや専門科目でかじった程度だったので、大変参考になりました。
- ・ 「主体的に取り組む態度」がどういったものなのかいまいち理解が漠然としていたのですが、今回の講座を受けてはっきりしました。
- ・ 現場では知り得ない（知る時間がない）情報を得る機会になりました。